

内外政

- ・20日、ブマコフ農業・食品産業相は、パダル・エストニア農務相と会談し、その後の共同記者会見において、年内にエストニアにおいてモルドバ産食料品の展示会が開かれることに合意、来年には輸出量拡大が見込まれる旨発言。
- ・21日、憲法裁判所は、20日のラヴロフ露外相による同裁判所が欧州統合を支持しないモルドバの政党を違憲とする旨の判決を発表したとの発言を、全くのでたらめである旨発表。
- ・22日、ロシア連邦動植物衛生監督庁は、27日からロシアにおけるモルドバ産の食用肉の供給を止める旨発表。
- ・23日、自由党は、20日のラヴロフ露外相によるモルドバが

中立主義を放棄した際は沿ドニエプルが自らの将来に関する自決権を得るとの発言に対し、モルドバにウクライナと同様のシナリオを実現する可能性があるとし、モルドバ外務省が公式に対応すべき旨発表。

- ・24日、OSCEは、11月30日の選挙において200名以上の監視員が活動を行う旨発表。

- ・24日、ユンケル欧州委員長は、ロシアに対し、モルドバへの圧力をやめるよう呼びかけ。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。

(了)